

## ◆自然教育園ガイド◆ 「天神島臨海自然教育園の地形と地質」

天神島と笠島の岩礁は、およそ500万年前に海底で堆積した三浦層群三崎層という地層からできています。水深2000～3000mの海底で堆積したこの地層は、長い時間をかけて地殻変動によって隆起し、現在は天神島と笠島の地盤を作っています。今回は天神島と笠島で観察できる地層と地形について紹介します。

**海食台**：天神島や笠島は、比較的平坦な岩礁から出来ています。これは、かつて海底で波の浸食によって平らな地形が作られ、それが地震で隆起したため、海食台と呼ばれます。



天神島の岩礁

**甌穴（おうけつ）**：天神島の岩場には、直径数十cmから1m程度の穴を見つけることができます。これは岩場の小さな割れ目に小石などが入り

込み、波によって小石がくぼみの中を転がって、穴を大きく広げたために作られたものです。ポットホールとも呼ばれます。

**スコリア凝灰岩とシルト岩**：天神島を作るおもな岩石は、黒っぽいスコリア凝灰岩です。凝灰岩とは火山灰が固結したもので、スコリアとは黒っぽい火山灰のうち多孔質（小さな穴がたくさんあること）のものを言います。そのほかにも、シルト岩（直径1/16～1/256mmの泥が固まったもの）も見られます。

**差別浸食**：天神島の岩礁には縞模様（地層）が見られ、その模様に沿って岩がでこぼこしています。これは地層を作るシルト岩とスコリア凝灰岩のうち、やわらかいシルト岩が選択的に波で浸食されたためです。



地層の傾き

**地層の傾き**：地層は通常水の中で堆積するため、水平な地層が作られます。しかし、天神島や笠島の地層は南西方向に40度程度傾いています。これは、深海に堆積した地層が、地殻変動によって陸上まで持ち上げられる過程で、もともと水平だった地層が傾いてしまったためです。

**火山豆石**：天神島では、地層の中に火山豆石が見られます。火山豆石とは、火山灰が噴煙の中で球状に固結したものです。天神島の地層ができた場所の近くには、活動的な火山があったと考えられます。



火山豆石

天神島ビジターセンターでは、2009年3月29日まで企画展示「天神島周辺の地質」を開催しています。あわせてご覧下さい。（柴田 記）

## ◇特別展示ニュース◇

### 特別展示 「三浦半島の海藻」

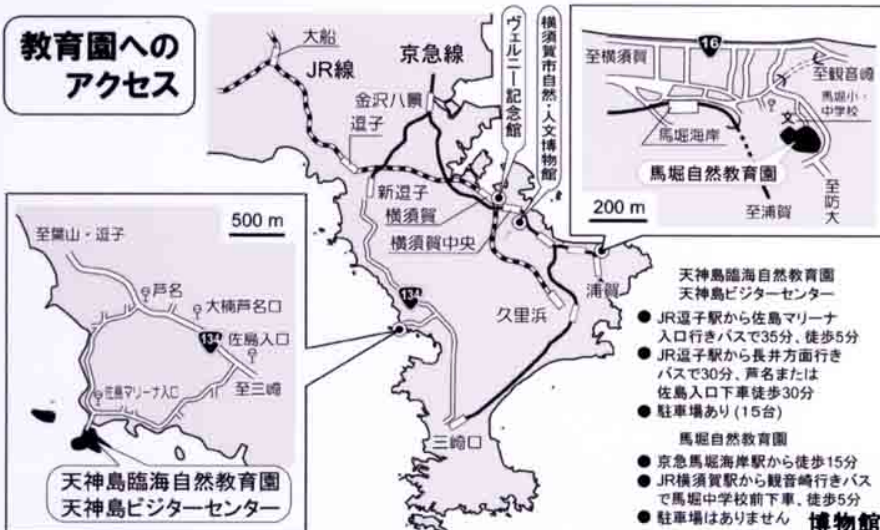
三浦半島の沿岸には約350種の海藻が分布しています。この特別展示

では三浦半島沿岸の海藻の多様性・生態・微細構造を4000点を超える海藻標本やビデオ映像・顕微鏡でご覧いただけます。2009年3月1日～5月31日。博物館本館特別展示室。関連

行事として、展示解説は3月1日（日）と3月7日（土）、講演会「日本の海藻」は3月7日（土）、いずれも博物館本館。観察会は3月14日（土）10:00-15:00、天神島臨海自然教育園。

## ◆横須賀市自然・人文博物館 付属自然教育園◆

### 教育園へのアクセス



### 馬堀自然教育園

〒239-0802

横須賀市馬堀町4-10-3

TEL 046-841-5727

### 天神島臨海自然教育園

（ビジターセンター）

〒240-0103

横須賀市佐島3-7-3

TEL 046-856-0717

### 博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台95

TEL 046-824-3688

Fax 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始

開館・開園時間 9:00-17:00

（自然教育園 10～3月は16:30まで）

博物館ホームページ

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>

## ◆自然教育園をご利用の際の注意◆

- ①動植物の採集はできません。
- ②ペットを連れての入園・レジャー用品の持ち込みはご遠慮ください。